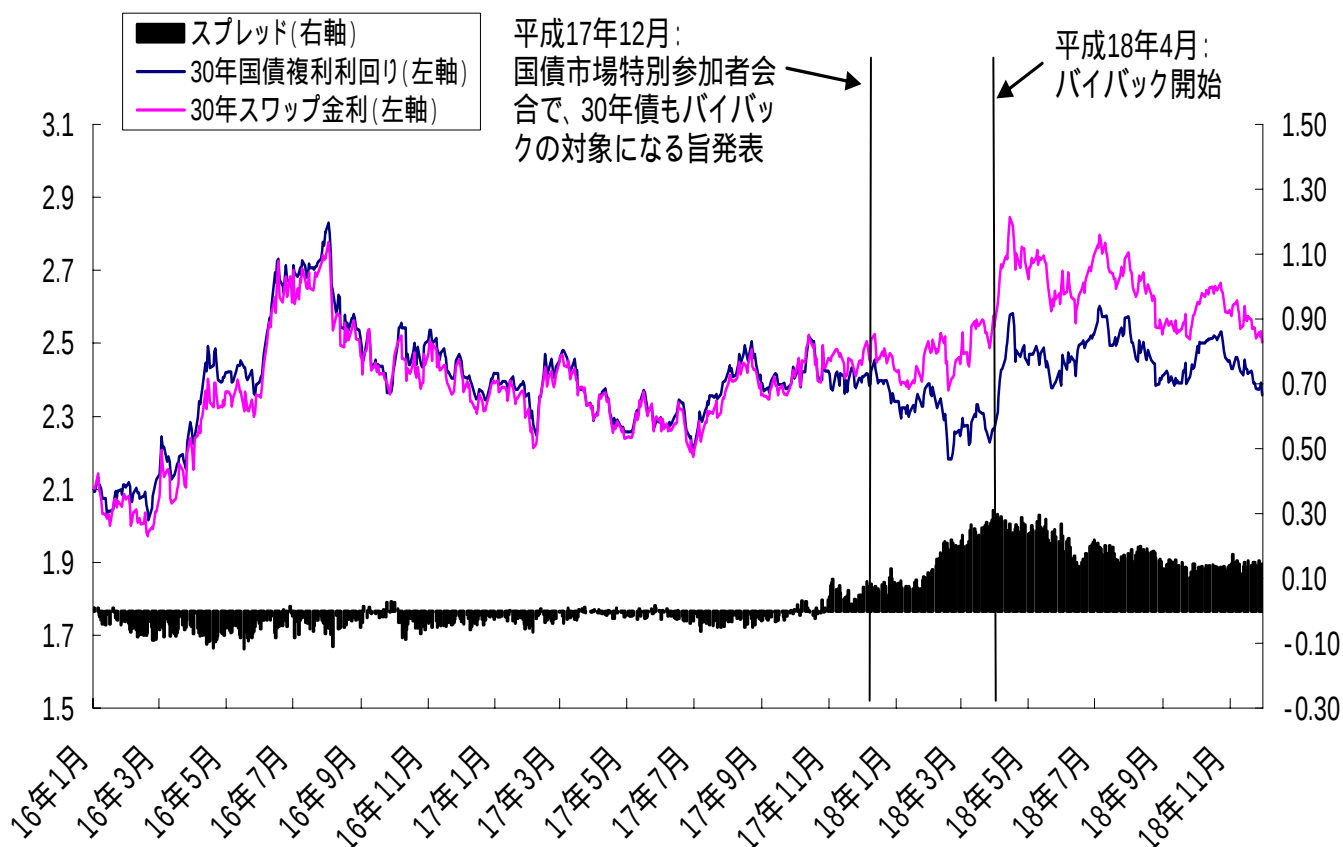


30 年債の流動性向上について

< スワップスプレッドの推移 >



- ・ バイバック実施の発表後、スワップスプレッドが拡大。
- ・ スワップの同年限の金利に対して、国債金利が低下しているということであり、30 年債の割安度の修正を示している。
- ・ ただし、20 年物との関係では、スワップの 20 年 - 30 年スプレッドに比べ、国債のスプレッドはいまだ大きく、30 年債の割安感は若干残っている。